

## ④ 特定課題（第5小委員会）

行財政改革全般の課題ある「財政的課題」、「人件費」、「職員数」、「各種補助金事業」などを特定課題として、事業間、組織間の横断的な評価を行うことを目的としています。

### ■これまでの評価の内容

以下に、中間報告（平成19年10月12日）以降平成19年12月までに行った特定課題評価の内容を報告します。

#### 活動の経緯

団体名等	開催日時	会場	出席者	
			委員	担当
中津川市民病院・国保坂下病院・各診療所	平成19年12月3日9時	市民病院5階講義室	7	7

### ■中津川市民病院・国保坂下病院・各診療所

#### ●内容

病院については、平成19年2月16日に特定課題として一度勉強会及びヒアリングを行っております。それにより今年度の中間報告では「中間施設の形成も含めて、保健・福祉・医療という役割分担を再構築することに重点を置く必要があります。短期的な計画と長期的な計画を分けて作成する必要があります。」（中間報告書、2007年、P.116より）と述べました。

平成19年12月3日には、第1小委員会の病院に関する事務事業評価と、特定課題（第5小委員会）の病院のあり方について合同でヒアリングを行いました。

二次医療の特化、医師・看護師の確保、中津川市民病院・国保坂下病院・各診療所（以下、病院）のあり方、病院の収支について協議を行いました。

二次医療については、市民ニーズや市民の認識を考えると時期的に難しい事は了承しましたが、二次医療での経営の統合推進は進めて頂きたいです。医師・看護師の確保も努力していることはうかがえましたが、特に産科・小児科・麻酔科の医師の確保は急務であると考えます。

病院のあり方については、スリム化して経営してもらう方が良いです。市の補助金や負担金も見直し、市の財政全体を見たうえで、繰出金額を考えていきたいですが、なにせよいつまでも繰出金がついていけるわけではありません。収支においても、病院経営は市の財政と切り離せない関係です。公立の黒字病院などを視察し、積極的に良い所を取り入れて運営して行って下さい。

#### ●期待すること

病院は市民の生命を守るというのが第一でありますから、一般財源からの繰入れについては、基本的には認めていきます。ただ繰入れも際限なく使うわけにはいきません。どう折り合いをつけていくか、**時系列でとらえた計画的・具体的なスケジュール**を出して頂く必要があります。

会計システムの統一化や、次年度予定の市民病院と坂下病院の事務局の一本化は、事務のスリム化として非常に素晴らしいと思います。

---

## ■最終報告に向けて

---

平成 19 年 1 月 17 日に中津川市社会福祉協議会（以下、社協）に対する勉強会及びヒアリングを開始して、病院についての二度のヒアリング、9 の外郭団体と中津川市土地開発公社の勉強会及びヒアリング、総合事務所のあり方について理事や各総合事務所長と協議などを行ってきました。

それにより市と社協の関わりや仕事の分担、病院のあり方、各外郭団体の統一されていない決算、850 人体制に基づく総合事務所のあり方、等々多くの課題が見つかりました。

以上の点をふまえて、最終報告では、総まとめとして市民による行政評価委員会の一つの提言をしたいと思います。

また現在、税の使いみちの一つとして、負担金補助及び交付金の調べを進めております。市民の目から公平に見て有益に使われているかどうか、単純にマンネリ化している補助ではないか等を調査します。

それについても、最終報告書でご報告したいと思います。